

国立大学法人
上越教育大学 学校教育学部
学生募集要項 2025

インターネット出願のため、この学生募集要項に出願書類は添付されていません。

本学の入学試験の出願方法は「インターネット出願」です。
 インターネット出願サイトで「アカウント作成」後、出願期間内に
 「出願内容の登録」・「検定料の支払い」・「出願書類の提出」を
 完了してください。

入試関係日程一覧

入試方法	インターネット出願登録期間 及び検定料支払期間	出願期間 (出願書類提出期間)	試験日	合格者の発表
学校推薦型選抜	令和6年12月2日(月)10時 ～ 12月9日(月)15時まで	令和6年12月2日(月) ～ 12月9日(月) <u>17時必着</u>	令和7年1月29日(水)	令和7年2月12日(水)
一般選抜 (前期日程)	令和7年1月27日(月)10時 ～ 2月5日(水)15時まで	令和7年1月27日(月) ～ 2月5日(水) <u>17時必着</u>	令和7年2月25日(火) ～ 2月26日(水)	令和7年3月7日(金)
一般選抜 (後期日程)			令和7年3月12日(水)	令和7年3月22日(土)

今後の各種感染症の感染状況、並びに災害等の不測の事態により、本要項に記載されている「一般選抜」及び「学校推薦型選抜」の選抜方法や試験時間等を変更して実施することがあります。

変更を決定した場合は、直ちに本学ホームページにて周知しますので、出願の前や試験日の直前は、最新の情報にご注意願います。

[二次元コード]

URL : <https://www.juen.ac.jp/>



目 次

	ページ
感染症への対応等	3
感染症の感染拡大防止のためのお願い	3
I 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)	4
1 教育の理念・目的	4
2 学校教育学部目標	4
3 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)	4
II 募集人員・入学者選抜方法等	6
1 募集人員	6
2 入学者選抜方法	6
3 出願資格	6
4 令和7年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目	7
III 出願に当たっての留意事項	11
IV 出願手続	12
V 受験上又は修学上の配慮を必要とする入学志願者との事前相談	16
VI 一般選抜	17
前期日程	17
募集人員	17
選抜方法	17
試験の日程	17
試験場	18
試験の実施方法	18
配点等	19
合格者の発表	19
入学手続	19
その他	20
後期日程	21
募集人員	21
選抜方法	21
試験の日程	21
試験場	21
配点等	21
合格者の発表	22
入学手続	22
その他	23
追加合格	24
追加合格者への通知等	24
入学手続	24

VII	学校推薦型選抜	26
	募集人員	26
	推薦要件	26
	選抜方法	26
	試験の日程	27
	試験場	27
	配点等	27
	合格者の発表	27
	入学手続	27
	入学辞退手続	28
	その他	29
VIII	その他	30
	大規模災害で被災した志願者への検定料等免除	30
	入試の個人成績等の開示	31
	出願状況等の提供	32
	教育実習等に係る費用負担	32
	ノート型パーソナルコンピュータの所持	32
	体温計とマスクの所持	33
	キャンパス敷地内全面禁煙	33
	All Gender WCの設置	33
	本学に関する問い合わせ	33
	<参考>	
	コース・領域(分野)の紹介	34
	<附録>	
	令和6年度入試合格者成績情報	35
	令和6年度入学試験状況	35
	令和6年度上越教育大学入学者選抜試験 試験問題	37
	本学へのアクセス	裏表紙

感染症への対応等

本年度（令和6年度）に実施する令和7年度入学者選抜は、昨年度に引き続き、本学を試験会場とし、各種感染症の感染拡大防止に向けた対策を講じて、試験を実施します。

1 学校推薦型選抜の「推薦書」

部活動等における大会や資格・検定試験等が中止・延期等のため参加できなかった場合は、成果獲得に向けた努力のプロセス等について記載を求めます。

2 調査書の取り扱い

新型コロナウイルス感染症の影響により、出席日数や特別活動の記録、指導上参考となる諸事項の記載が少ないこと等をもって特定の入学志願者を不利益に取り扱わないようにします。

3 本学試験場における感染症対策

- ・ 試験当日、入試業務に関わる教職員は、マスクを着用します。
- ・ 試験室では、定期的に入出口の扉や窓を開放することによる換気を実施します。
- ・ 試験場内の各所に手指消毒用の速乾性アルコール製剤を配置しますので、必要に応じてご利用ください。

感染症の感染拡大防止のためお願い

- 1 試験当日までに、発熱、咽頭痛、咳等の症状が見られる場合は、あらかじめ医療機関を受診してください。
- 2 他の受験者や試験監督者等への感染症拡大を防止するため、学校保健安全法施行規則において出席停止が定められている感染症（インフルエンザ、麻しん、水痘、新型コロナウイルス感染症等）に罹患し、試験当日までに学校保健安全法で定められた出席停止期間を経過していない方、又は試験当日に高熱、息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）等の強い症状がある方は、受験を控えてください。（病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められたときはこの限りではありません。）
- 3 上記2により受験できなかった場合の追試験等の措置は行いません。
- 4 試験当日のマスク着用は任意となります。但し、咳や咽頭痛等の体調不良の症状がある方については、マスクの着用をお願いします。
- 5 試験当日は試験室の換気のため、定期的に入出口の扉や窓を開放しますので、上着などの体温調節が出来る服を持参してください。

I 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

上越教育大学では、「上越教育大学学校教育学部における卒業認定・学位授与、教育課程編成・実施及び入学者受入れの方針」を策定し、公表しています。

以下に、教育の理念・目的、学校教育学部の目標、入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）を示します。

1 教育の理念・目的

上越教育大学（以下「本学」という。）は、本学大学憲章に基づき、子供の未来を切り開くことのできる確かな実践力を備え、我が国の教育を担う中核的・指導的な教員の養成を目指している。

教員という職業は、豊かな人間性に支えられた専門職である。その専門性には、子供たちの学習と生活を支援でき、そして人類の築き上げた文化を全体として理解・把握する、つまり様々な学問分野の考え方を整理・統合し、人間の文化的営みを理解できる総合的な資質・能力が求められている。

そのため、本学では、「21世紀を生き抜くための能力（基礎力・思考力・実践力）」を身につけ、「人間力（優れた人格・豊かな感性・未来創造力）」を備え、さらに「教育実践力（豊かな教養・高度な専門的知識・優れた教育技術・使命感・創造力・人間愛）」及び「学び続ける力」を有する教員を養成する。

2 学校教育学部の目標

主として初等教育教員の養成に関する社会的要請に応えるべく、深い人間理解と豊かな学識及び優れた教育技術を備えた教員を養成する。

そのため、教員としての使命感や責任感を育むとともに、社会性や対人関係の力、子供を理解し学級を運営する力、人文科学・社会科学・自然科学・芸術・スポーツについてのバランスのとれた専門的能力とその指導力など、教員に必要な基本的資質と実践的な能力を養成する。

3 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

(1) 本学では、以下に掲げる学生を求めている。

ア 高等学校等における基礎的な知識・技能を十分に修得している。【知識・技能】

イ 物事を多面的かつ論理的に考察することができ、自分の考えを適切な方法で表現し、他者に伝えることができる。【思考力、判断力、表現力】

ウ 生活や社会、環境の中に問題を見出し、多様な人々と関わりながら、積極的に学修を進めていくことができる。【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】

エ 教員を目指す強い意志を持ち、自分らしい生き方を教職との関係において追究し、人格及び感性を高めていこうとする態度を備えている。【人間力】

(2) 以上の受入れの方針に基づいて、本学では、一般選抜（前期日程・後期日程）と学校推薦型選抜の三つの方法により、学力の3要素等を多面的・総合的に評価し、入学者を選抜する。

選抜区分	選抜方法	学力の3要素等			
		知識・技能	思考力判断力表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	人間力
一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テスト	○	○		
	小論文		○		
	実技検査（音楽・美術・体育から選択）	○			
	集団面接			○	○
	調査書			○	
一般選抜 (後期日程)	大学入学共通テスト	○	○		
	個別面接			○	○
	調査書			○	

学校推薦型 選抜	大学入学共通テスト	○	○		
	個別面接			○	○
	推薦書	○	○	○	
	自己推薦書			○	○
	調査書			○	

○：主な評価項目

※卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）と教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）は、本学ホームページ（<https://www.juen.ac.jp/050about/010info/policy/R04faculty.html>）をご覧ください。

Ⅱ 募集人員・入学者選抜方法等

1 募集人員

学 部	課 程	入学定員	募 集 人 員		備 考
学校教育学部	初等教育教員 養成課程	160人	前期日程	77人	
			後期日程	33人	
			学校推薦型選抜	50人	

(注) 2年次から、本人の希望と1年次の成績に基づいて、次のいずれかのコースに所属することになります。

詳細については、34ページ「コース・領域（分野）の紹介」をご覧ください。

・ 学校教育専修

学校教育コース、教科教育・教科複合コース、幼年教育コース、心理臨床コース

2 入学者選抜方法

入学者の選抜は、次の方法により行います。

- ・ 一般選抜（前期日程、後期日程）
- ・ 学校推薦型選抜

3 出願資格

(1) 一般選抜

次のいずれかに該当し、かつ、令和7年度大学入学共通テスト(6教科8科目又は7教科8科目)を受験した者です。

- ① 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は令和7年3月卒業見込みの者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は令和7年3月修了見込みの者
- ③ 外国において学校教育における12年の課程を修了した者若しくは令和7年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者又は令和7年3月31日までに修了見込みの者
- ⑤ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は令和7年3月修了見込みの者
- ⑥ 文部科学大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第47号）
- ⑦ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- ⑧ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの又は令和7年3月31日までに18歳に達するもの

【上記出願資格⑧により出願する場合の手続きは、10ページのとおりとします。】

(2) **学校推薦型選抜**

次のいずれかに該当し、かつ、令和7年度大学入学共通テスト（6教科8科目又は7教科8科目）を受験する者です。

- ① 高等学校若しくは中等教育学校を令和5年4月から令和6年3月までに卒業した者又は令和7年3月卒業見込みの者（学校教育法施行規則第93条第3項及び第103条第1項等の規定に基づき、令和6年度の学年の途中において高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は卒業見込みの者を含む。）
- ② 高等専門学校第3学年を令和5年4月から令和6年3月までに修了した者又は令和7年3月修了見込みの者
- ③ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和5年4月から令和6年3月までに修了した者又は令和7年3月31日までに修了見込みの者

4 令和7年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

一般選抜及び**学校推薦型選抜**に出願する者は、次に掲げる令和7年度大学入学共通テストの6教科8科目又は7教科8科目の受験を要します。

教科	科目名及び利用科目の選択方法	
国語	『国語』	1科目
地理歴史	『地理総合、地理探究』 『歴史総合、日本史探究』 『歴史総合、世界史探究』	から1又は2科目 (注2)
公民	『地理総合／歴史総合／公共』(注1) 『公共、倫理』 『公共、政治・経済』	
理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』(注3) 『物理』 『化学』 『生物』 『地学』	
数学	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』から1科目 『数学Ⅱ、数学B、数学C』(注7)	計3科目 (注4)(注6)
外国語	『英語』(注8)	計2科目
情報	『情報Ⅰ』	1科目
		1科目

※『』は大学入学共通テストにおける出題科目を表し、「」は高等学校学習指導要領上設定されている科目を表す

(注1) 『地理総合／歴史総合／公共』は「地理総合」、「歴史総合」、「公共」の3つの出題範囲から2つを選択解答してください。

(注2) 公民から2科目を選択する場合には、『公共、倫理』と『公共、政治・経済』の組合せを選択することはできません。

また、『地理総合／歴史総合／公共』で選択解答した出題範囲と同一名称を含む科目の組合せを選択することはできません。

(注3) 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」の4つの出題範囲から2つを選択解答してください。

(注4) 理科から1科目を選択する場合は、地理歴史・公民から2科目を、理科から2科目を選択する場合は、地理歴史・公民から1科目を選択してください。

(注5) 理科から『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を含む2科目を選択する場合は、『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』において選択解答する出題範囲と同一名称を付した科目（「物理基礎」と『物理』、「化学基礎」と『化学』、「生物基礎」と『生物』、「地学基礎」と『地学』）の組合せを選択することはできません。ただし、地理歴史・公民で2科目を選択する場合は、この限りではありません。

この場合における本学の成績利用方法は、(注6) 2. のとおりです。

(注6) 地理歴史・公民から2科目を受験し、理科から2科目を受験した場合は、理科の科目選択方法に応じて、次の3科目の成績を用います。

1. 理科から『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を含む2科目を選択した場合に、一方の科目で『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』において選択解答した出題範囲と異なる名称を付した出題科目を受験した場合。

ア 地理歴史・公民の第1解答科目

イ 理科の第1解答科目

ウ 地理歴史・公民の第2解答科目又は理科の第2解答科目のどちらか高得点の科目

2. 理科から『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を含む2科目を選択した場合に、一方の科目で『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』において選択解答した出題範囲と同一名称を付した出題科目を受験した場合。

ア 地理歴史・公民の第1解答科目

イ 地理歴史・公民の第2解答科目

ウ 理科の第1解答科目又は第2解答科目のどちらか高得点の科目

3. 理科において、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から2科目の出題科目を受験した場合は、上記1の利用方法に準じます。

(注7) 数学の科目において、『数学Ⅱ、数学B、数学C』の出題範囲のうち、「数学B」及び「数学C」は、「数学B」の2項目の内容（数列、統計的な推測）及び「数学C」の2項目の内容（ベクトル、平面上の曲線と複素数平面）のうち3項目の内容の問題を選択してください。

(注8) 外国語の『英語』については、リーディング及びリスニングを課します。なお、大学入試センターにおいてリスニングを免除された者については、リーディングのみを課します。

◆ 旧教育課程履修者等に対する経過措置

一般選抜及び学校推薦型選抜に出願する者で、大学入学共通テストの利用教科・科目についての旧教育課程履修者等に対する経過措置は、次のとおりです。

地理歴史、公民、数学及び情報の4教科に関しては、令和7年度大学入学共通テストの受験者は、新学習指導要領に基づく教科・科目の内容による試験を受験するのが原則ですが、旧教育課程履修者等のうち希望する者に対しては、次表に掲げる選択も可能とします。

教科	科目の選択方法
地理歴史	『旧世界史A』、『旧世界史B』、『旧日本史A』、『旧日本史B』、『旧地理A』、『旧地理B』、『旧現代社会』、『旧倫理』、『旧政治・経済』、『旧倫理、旧政治・経済』から1又は2科目（※1）
公民	
数学①	『旧数学Ⅰ』、『旧数学Ⅰ・旧数学A』から1科目（※2）
数学②	『旧数学Ⅱ』、『旧数学Ⅱ・旧数学B』、『旧簿記・会計』、『旧情報関係基礎』から1科目（※3）
情報	『旧情報』（※4）

(※1) 次のア、イのいずれかを選択してください。

ア 新教育課程による出題科目の6科目のうちから1科目又は2科目を選択してください。

イ 経過措置科目の10科目のうちから1科目又は2科目選択してください。

ただし、地理歴史においては、同一名称のA・B出題科目、公民においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。

なお、旧教育課程履修者等は、新教育課程による出題科目と経過措置科目を組み合わせることはできません。

(※2) 新教育課程による出題科目と経過措置科目を合わせた4科目のうちから1科目を選択してください。

(※3) 新教育課程による出題科目と経過措置科目を合わせた5科目のうちから1科目を選択してください。

(※4) 新教育課程による出題科目と経過措置科目を合わせた2科目のうちから1科目を選択してください。

『旧情報』の出題範囲は、平成21年告示学習指導要領の「社会と情報」及び「情報の科学」の内容とします。

令和7年度大学入学共通テストにおける新教育課程履修者と旧教育課程履修者等の定義

新教育課程履修	① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。以下同じ。）に令和4年4月に入学し、新教育課程を履修、令和7年3月卒業見込みの者 ② 中等教育学校の後期課程に令和4年4月に進級し、新教育課程を履修、令和7年3月卒業見込の者
旧教育課程履修等	上記以外の者 ※ 高等学校等卒業生、高等学校卒業程度認定試験合格者又は合格者見込者、大学入学資格検定合格者、高等専門学校第3学年修了者又は修了見込者、高等専修学校（文部科学大臣に指定された高等専修学校に限る。）修了者又は修了見込者、外国の学校等修了者又は修了見込者、在外教育施設修了者又は修了見込者、及び高等学校等を令和7年3月卒業見込みであるが、入学は令和4年3月以前の者など上記に該当しない者

* 「新教育課程」とは、令和4年4月1日から適用された高等学校学習指導要領（平成30年3月30日文部科学省告示第68号）に基づく教育課程をいいます。

上越教育大学学校教育学部入学資格審査について

6 ページの「3 出願資格 (1)一般選抜 ⑧」における個別の入学資格審査は、出願の前に、入学資格認定のための審査を行うものです。なお、申請手続きは次のとおりですが、申請には本学所定の用紙等が必要ですので、該当者は事前に本学入試課へ連絡してください。

1 入学資格審査の対象者

本学の学校教育学部入学のために一般選抜の受験を希望し、令和7年3月31日までに18歳に達する者で次のいずれかに該当するものです。

- ① 高等学校段階を有する外国人学校を卒業した者又は卒業見込みの者
- ② 上記①以外の者で、学習歴及び社会での実務経験歴や取得した資格等が高等学校を卒業した者と同等以上であることを客観的に確認できる者

2 申請受付期間及び申請書類の送付先等

令和7年1月6日(月)～令和7年1月7日(火)【必着】

申請書類を直接本学へ持参する場合の受付時間は、9時から17時までです。申請書類を郵送する場合は、必ず書留速達とし封筒表面に「大学入学資格認定証書交付申請」と朱書してください。なお、受付期限後に到着したものは受理しませんので、郵送日数等を十分に考慮して早めに送付してください。

(申請先及び問い合わせ先)

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地

上越教育大学入試課入試チーム

電話 025-521-3294 電子メール nyushi@juen.ac.jp

注) 個別の入学資格審査を必要とする者は、必ず事前に入試課入試チームに相談してください。

3 申請書類

次の書類を揃えて申請してください。

(1) 「1 入学資格審査の対象者」の①に該当する者

- ① 入学資格認定申請書(別記様式第1号)
- ② 履歴書(入学資格認定審査用)(別記様式第2号)
- ③ 当該学校の教育が12年の課程であることを証明できるもの
- ④ 当該学校の教育内容等を証明できるもの
- ⑤ 当該学校の卒業証明書又は卒業見込証明書
- ⑥ その他本学が必要と認める書類

(2) 「1 入学資格審査の対象者」の②に該当する者

- ① 入学資格認定申請書(別記様式第1号)
- ② 履歴書(入学資格認定審査用)(別記様式第2号)
- ③ 各種の学校などでの学習歴及び社会での実務経験歴や取得した資格等が高等学校卒業と同等以上であることを客観的に確認できる書類(学習歴や実務歴が複数にわたる場合は、そのすべてについて提出してください。)
- ④ その他本学が必要と認める書類

4 入学資格審査の方法

審査は、提出された書類に基づき行います。

「1 入学資格審査の対象者」の①に該当する者については、文部科学大臣が定めた「大学入学資格に係る専修学校高等課程の指定に関する実施要項」の要件を準用し審査します。

「1 入学資格審査の対象者」の②に該当する者については、個人の学習歴、あるいは社会における実務経験歴や取得した資格等に基づき総合的に審査します。

5 入学資格審査の結果通知

令和7年1月21日(火)までに申請者宛に郵送により通知します。

また、入学資格を認められた者については、「入学資格認定証書」を交付します。

6 上越教育大学入学者選抜試験の受験

「入学資格認定証書」の交付を受けた者は、本学の一般選抜を受験することができます。

出願の際は、必ず「入学資格認定証書」の写しを出願書類として提出してください。

7 留意事項

この入学資格審査は、本学の判断により実施するものであるため、認定の効力は本学のみです。

Ⅲ 出願に当たっての留意事項

- 1 本学の入学試験の出願方法は「**インターネット出願**」です。
「紙出願」（募集要項に添付の入学志願票等に直接記入する方法）は行っておりません。
- 2 出願書類に不備がある場合には、受理しないことがありますので十分注意してください。
- 3 出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学許可を取り消すことがあります。
- 4 **本学の前期日程に出願した者は、他の大学・学部の前期日程には出願できません。**
本学の後期日程に出願した者は、他の大学・学部の後期日程には出願できません。
なお、**本学の前期日程と後期日程との併願は、可能です。**
- 5 国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す場合、課さない場合とも）については、1つの大学・学部にも出願することができます。
本学の学校推薦型選抜に出願した者は、他の国公立大学・学部の学校推薦型選抜には出願できません。
※公立大学協会ホームページ (https://www.kodaikyo.org/?page_id=17050) 参照
- 6 **国公立大学・学部の学校推薦型選抜に出願する者は、前期日程から1つ、後期日程から1つの、合計2つまでの大学・学部にも出願することができます。**ただし、国公立大学・学部の学校推薦型選抜合格者又は総合型選抜合格者は、出願済みの国公立大学・学部の一般選抜を受験しても入学許可は得られません。（当該学校推薦型選抜又は総合型選抜を実施する大学・学部の定める学校推薦型選抜又は総合型選抜の入学辞退手続により入学辞退を許可された場合を除く。）
- 7 本学又は他の国公立大学・学部の前期日程試験に合格し、令和7年3月15日(土)までに入学手続を行った者は、本学の後期日程試験を受験してもその合格者となることはありません。
- 8 受験に関する詳細については、出願書類を提出した者に対して、本学の受験票とともにインターネット出願サイトに掲載する「受験者心得」を参照してください。
なお、本学の受験票及び大学入学共通テストの受験票は、試験当日のほか、入学手続の際にも必要ですので、紛失しないように注意してください。
- 9 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、高等学校等コード及び大学入学共通テストの受験番号に限って、合否及び入学手続き等に関する個人情報、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。
- 10 本学が入試を通じて取得した試験成績等の個人情報は、入試のほか、入学後の授業実施計画、学籍管理、入学料等免除の選考、奨学金貸与・給付の選考及び各種統計資料の作成・分析に使用し、これ以外の目的に用いることはありません。
また、個人を特定しない形で統計的な調査に使用することがあります。
- 11 出願書類及び試験成績等の情報のコンピュータ入力については、個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結した上で、外部の事業者へ委託することがあります。

IV 出願手続

1 出願方法

本学の入学試験の出願方法は、「インターネット出願」です。

「紙出願」(募集要項に添付の入学志願票等に直接記入する方法)は行っておりません。

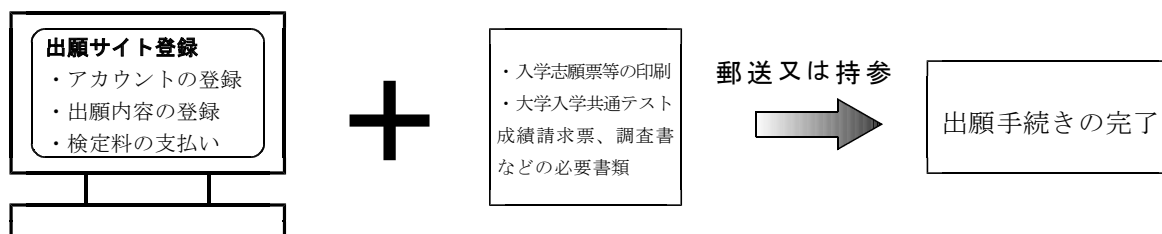
インターネット出願では、学生募集要項(冊子体)の取り寄せが不要(PDFで公開しています)となり、Web入力に際してエラーチェック機能により願書の記入誤りが防げます。また、検定料の支払方法としてコンビニエンスストアやクレジットカード等の利用が可能です。

ご利用にあたってはメールアドレス・パソコン(インターネット接続済)・プリンター(A4出力)が必要です。

インターネット出願において、アカウントの登録、出願内容の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了ではありません。出願に必要な書類を郵送する必要があります。出願書類の提出期限をよく確認し、郵送に要する日数を考慮したうえで期限に間に合うよう手続きしてください。

なお、事情によりインターネット出願を利用することができない方は、出願登録期間前に、本学入試課へご連絡ください。

【インターネット出願の流れ】



出願前に募集要項を確認し、必要書類の事前準備をお願いします。

- ・大学入学共通テスト成績請求票
- ・調査書
- ・顔写真データ(JPEGのみ 100KB以上3MBまで)
- ・推薦書(学校推薦型選抜のみ)
- ・自己推薦書(学校推薦型選抜のみ)

1 インターネット出願サイトへアクセス

本学入試情報ホームページ

→ <https://www.juen.ac.jp/060admissions/020faculty/index.html>にある

「インターネット出願」のバナーからアクセス

インターネット出願サイト

→ <https://home.postanet.jp/PortalPublic/> からアクセス

※ 「アカウントの登録」については、「インターネット出願登録期間及び検定料支払期間」以外でも可能です。

「出願内容の登録」、「検定料の支払い」及び「入学志願票等の印刷」については、「インターネット出願登録期間及び検定料支払期間」以外では利用できません。

2 出願期間・出願書類提出期間

	インターネット出願登録期間 及び検定料支払期間	出願期間 (出願書類提出期間)
学校推薦型選抜	令和6年12月2日(月)10時から 令和6年12月9日(月)15時まで	令和6年12月2日(月)から 令和6年12月9日(月) 17時必着
一般選抜 (前期日程) (後期日程)	令和7年1月27日(月)10時から 令和7年2月5日(水)15時まで	令和7年1月27日(月)から 令和7年2月5日(水) 17時必着

(注) 出願書類の提出にあたっては、「6」出願書類の提出を確認してください。

3 アカウントの登録・出願内容の登録

- ① 出願に当たっては、事前にアカウントの登録が必要です。
- ② 画面の手順や留意事項を必ず確認してください。
- ③ 画面に従って出願内容の選択、顔写真データの登録、必要事項を入力してください。
- ④ 検定料の支払い方法を選択してください。

4 検定料の支払い

次のいずれかの方法で支払手続を行ってください。

- a クレジットカードの場合
画面に従って、支払手続を行ってください。
- b 指定のコンビニエンスストア及びPay-easy (Pay-easyが利用可能な金融機関ATM及びインターネットバンキング) の場合
 - ① 支払方法を選択し、確定後に表示される受付番号等をメモしてください。
 - ② メモした受付番号等を使用し、取扱い店舗で支払手続を行ってください。

※ 検定料のほかに手数料がかかります。

※ 検定料は、インターネット出願登録をした日を含めた4日以内にお支払いください。ただし、出願登録をした日から検定料支払期間の最終日までの期間が4日未満の場合は、最終日の15時までにお支払いいただく必要がありますので、ご注意ください。

なお、上述の期間内にお支払いされない場合は、その出願登録は自動的にキャンセルとなりますので、ご注意ください。

5 各帳票をプリンターにて印刷

検定料の支払い完了後に受信する「出願手続 検定料支払完了メール」に記載されたURLにアクセス又は、アカウントにログインして「入学志願票」等を印刷します。

※ ページの拡大／縮小は「なし」で印刷してください。

6 出願書類の提出

出力した入学志願票と他の必要書類（調査書等）を合わせて「2 出願期間・出願書類提出期間」の期間内に郵送（書留速達）または直接持参してください。

（注1） 出願書類郵送用封筒は市販の角形2号（縦33cm、横24cm程度）の封筒に、プリンターで印刷した「封筒貼付用宛名シート」を貼り付けて使用してください。

（注2） 直接持参する場合の受付時間は、9時から17時までです。（土曜日、日曜日を除く。）

（注3） 郵送の場合には、受付期限後に到着したものは受理しませんので、**郵送日数等を十分考慮して「書留速達」で早めに送付してください。**

出願書類の提出先 〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学入試課

7 出願上の注意

- ・ 出願内容の登録完了後の変更はできませんので、入力した内容を十分に確認してください。
なお、登録内容に誤りがあった場合は、本学入試課へ連絡してください。

上越教育大学入試課（電話 025-521-3294 メール nyushi@juen.ac.jp）

- ・ スマートフォンやタブレットなどのモバイル端末で利用することも可能ですが、Webブラウザによっては正常に利用できない場合もあります。また、印刷を必要としますので、パソコンからのご利用をお勧めします。

- ・ 出願期間終了後、一週間程度で下記の書類がインターネット出願サイト上にアップロードされます。アップロードの際には、出願時に登録したメールアドレスに、その旨をお知らせします。それぞれ受験に必要な資料ですので、お知らせのメールに掲載するURLから各自で印刷してください。

- ① 受験票
- ② 受験者心得
- ③ 集団討論のテーマ・発表用のメモ用紙 ※一般選抜（前期日程）志願者のみ
（15ページの（3）を参照）

※ メールアドレスを登録する際の注意事項

メールの「受信／拒否設定」がされている場合、メールが届かないことがあります。

「nyushi@juen.ac.jp」「no-reply@postanet.jp」からのメールを受信できるように、必ず事前に設定しておいてください。

2 出願書類等

(1) 全員が提出するもの

書類等	様式	摘要
①入学志願票	本学所定	インターネット出願サイトから、手続き完了後に出力すること。
②令和7共通テスト成績請求票	大学入試センター所定	<p>大学入試センターから送付された「令和7共通テスト成績請求票」を、上記①の入学志願票の所定の欄に貼り付けること。</p> <p>学校推薦型選抜・・・推薦 国公立推薦型選抜用</p> <p><u>なお、出願までに手もとに到着しなかった場合は、「未着」の旨のメモ書きを「⑥ 出願書類提出用封筒」に入れて出願し、手もとに届き次第、至急、上越教育大学入試課（〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地）宛てに「書留速達」で郵送すること。</u></p> <p>前期日程・・・前 国公立前期日程用</p> <p>後期日程・・・後 国公立後期日程用</p>
③調査書※	文部科学省所定	<p>(1) 出身学校長が作成し、厳封したものを提出すること。</p> <p>(2) 高等学校卒業程度認定試験合格者等は、調査書に代えてその合格成績証明書又はその資格を証明する書類を提出すること。 なお、高等学校等に在学したことのある者は、在学期間中の調査書又は成績証明書を併せて提出すること。</p> <p>(3) 専修学校高等課程修了者等は、調査書に代えてその成績証明書等を提出すること。</p>
④検定料(17,000円)	—————	<p>インターネット出願サイトから、所定の手順により支払手続を行うこと。</p> <p>13ページの「4 検定料の支払い」も参照すること。</p> <p>出願受付後においては、既納の検定料は返還しない。</p> <p>ただし、一般選抜の出願受付後に大学入学共通テスト受験科目不足等で、出願無資格者と判明した者については、既納の検定料のうち13,000円を本学が定める方法により返還する。</p>
⑤出願書類提出用封筒	角形2号	<p>インターネット出願サイトから、手続き完了後に「封筒貼付用宛名シート」を出力し、市販の角形2号（縦33cm、横24cm程度）の封筒に貼り付けること。</p> <p>出願書類を郵送する場合は、出願書類を含む封筒の重さに応じた切手を貼り、郵送すること。</p> <p>なお、出願書類を直接持参する場合は、切手は不要となる。</p>

※ 指導要録の保存期間が経過した場合及び廃校・被災その他の事情により、調査書の提出が困難な場合などは、出願前に上越教育大学入試課（電話：025-521-3294）に問い合わせること。

(2) 学校推薦型選抜の入学志願者全員が提出するもの

書類等	様式	摘要
①推薦書	本学所定	出身学校長が作成し、 <u>厳封</u> したものを提出すること。 なお、文書作成ソフトで推薦書を作成しても差し支えない。 様式は、本学ホームページ「入試情報／学校教育学部」の「出願書類関係」からダウンロードすること。
②自己推薦書	本学所定	志願者本人が <u>自筆又は文書作成ソフト</u> で作成したものを提出すること。 様式は、本学ホームページ「入試情報／学校教育学部」の「出願書類関係」からダウンロードすること。

(3) 一般選抜（前期日程）の入学志願者で、面接に関係するもの（提出不要）

書類等	様式	摘要
①集団討論のテーマ	本学所定	出願期間終了後、一週間程度でインターネット出願システム上へのアップロード完了を知らせるメールを送付するので、当該メールに掲載されたURLからあらかじめ出力すること。 発表のテーマと留意事項を確認すること。
②発表用のメモ用紙	本学所定	出願期間終了後、一週間程度でインターネット出願システム上へのアップロード完了を知らせるメールを送付するので、当該メールに掲載されたURLからあらかじめ出力すること。 発表用のメモとして、試験当日、試験室への持ち込みを可とする。

(4) 一般選抜（前期日程、後期日程）の入学志願者で、該当する者が提出するもの

書類等	該当する者	摘要
①入学資格認定証書の写し	出願資格のうち、 ⑧に基づいて出願する者 (6ページ及び10ページ参照)	本学の個別の入学資格審査を受けて入学資格を認定された者が出願する場合は、入学資格認定証書の写しを提出すること。

V 受験上又は修学上の配慮を必要とする入学志願者との事前相談

本学に入学を志願する者で、障害等があることにより、**受験上**又は**修学上**の配慮を必要とする場合は、下記の期日までに本学に申し出てください。

また、日常生活で使用している補聴器、松葉杖及び車椅子等を使用して受験する場合も申し出てください。

※ 障害者手帳を交付されている者も必ず事前に申し出てください。

※ 受験上の配慮は必要としない場合でも、修学上の配慮を必要とする者は、必ず申し出てください。

(申し出を必要とする一例：高校在学時に、体育の授業等で特別な配慮を受けており、大学での授業においても引き続き特別な配慮を必要とする者等)

申出の時期

- ・学校推薦型選抜 令和6年11月1日(金)まで
- ・一般選抜 令和6年11月22日(金)まで

※ 期日以降に発生した不慮の事故等により、受験上又は修学上の配慮を必要とする場合は、速やかに本学入試課まで連絡してください。

相談の方法

相談申請書(本学所定のもの。本学ホームページからダウンロードできます。)に医師の診断書等必要書類を添付して提出することとし、必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る学校関係者等との面談等を行います。

◆連絡先

上越教育大学入試課

電話 025-521-3294

メール nyushi@juen.ac.jp

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地

VI 一般選抜

前期日程

募集人員

77人

選抜方法

- 1 大学入学共通テスト（6教科8科目又は7教科8科目）及び実技検査等の成績並びに面接の評価結果を総合して、入学者を選抜します。
- 2 **実技検査等**は、次によるものとします。
 - (1) **小論文**
 「思考力、判断力、表現力」を評価するため、小論文を課します。
【思考力、判断力、表現力】
 物事を多面的かつ論理的に考察することができ、自分の考えを適切な方法で表現し、他者に伝えることができる。
 - (2) **実技検査**
 「知識・技能」を評価するため、実技検査（音楽・美術・体育のうちから1科目を選択）を課します。
【知識・技能】
 高等学校等における基礎的な知識・技能を十分に修得している。
 音楽 …… 音楽表現の基礎的能力と適性をみます。
 美術 …… 造形表現の基礎的能力と適性をみます。
 体育 …… 運動の基礎的能力と適性をみます。
- 3 **面接**では、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」と「人間力」を評価するため、集団面接試験を行います。
【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】
 生活や社会、環境の中に問題を見出し、多様な人々と関わりながら、積極的に学修を進めていくことができる。
【人間力】
 教員を目指す強い意志を持ち、自分らしい生き方を教職との関係において追究し、人格及び感性を高めていこうとする態度を備えている。
- 4 **面接**は、次によるものとします。
 - ア 面接形式は、受験者5人程度の集団面接とします。
 - イ 面接は、3人の面接担当者で行います。
 - ウ 個別質問、プレゼンテーション、集団討論を行います。
 - エ 面接は、調査書の内容を参考資料としながら総合的に評価します。

試験の日程

実施日	時間	試験科目
令和7年2月25日（火）	10:00 ～ 11:30(予定)	小論文
	13:00 ～ 17:00(予定)	実技検査（音楽）
	13:00 ～ 15:00(予定)	実技検査（美術）
	13:00 ～ 17:00(予定)	実技検査（体育）
令和7年2月26日（水）	9:00 ～ 13:00(予定)	面接

試 験 場

上越教育大学

所在地：新潟県上越市山屋敷町1番地

試 験 の 実 施 方 法

試験科目	実施方法	
小論文 (全員に課す。)	文章(資料、図、表等を示すことがある。)を読み、その内容に関し800字以内で論述する。	
面接 (全員に課す。)	個別質問、プレゼンテーション、集団討論を行う。 プレゼンテーション、集団討論では、あらかじめ提示する討論テーマについて、1人2分から3分で意見を発表した後、それを踏まえてグループ全体で討論する。 集団討論のテーマ及び面接実施方法の詳細については、インターネット出願後に提示する(15ページの「2 出願書類等」の(3)参照)。	
実技検査 (音楽、美術、体育のうちから1科目を選択する。)	音 楽	<基礎音楽能力テスト> 音程感やリズム感を含む総合的能力をみる。 ①聴いたリズムを打つ。 ②ピアノの音を聴いて、それと同じ高さの音を出す。 ③簡単な旋律の楽譜を見て歌う。
	美 術	<造形表現テスト> 構成する力、素材への積極的なかかわり、描画する力を含む総合的な表現力をみる。 ○与えられた複数の描画対象物を自由に配置し、鉛筆により描画する。 (描画対象物として、野菜や果物などの自然物、日用品などの人工物を配付する。出題例：りんご、れんが、ロープなど)
	体 育	<運動能力テスト> 脚筋力、調整力及び柔軟性を含む総合的な運動の基礎的能力を次の2種目でみる。 ①立ち三段跳び* ②長座体前屈 ※ 両足を揃えた立位姿勢から、右足、左足(または左足、右足)と接地し、3歩目に両足で着地する跳躍運動

配 点 等

1 配 点

大学入学共通テストと実技検査等の配点比率は、5：1とします。

配点内訳は、次のとおりです。なお、地理歴史、公民及び理科の配点は、合計300点とします。

大学入学共通テスト								実技検査等			面接
国語	地理 歴史	公民	理科	数学	外国語 (英語)	情報	計	小論文	実技	計	
200	100又は200		100 又は200	200	200	100	1000	100	100	200	段階評価 とする

(注1) 外国語の英語については、リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)の合計点(200点満点)とします。

(注2) リスニングを免除された者については、リーディングの得点(100点満点)を200点満点に換算したものを英語の得点とします。

2 合否判定

大学入学共通テスト、小論文及び実技検査の成績並びに面接の評価結果を総合し、成績の上位から合格者を決定します。

合 格 者 の 発 表

令和7年3月7日(金)

合格者には、合格通知書及び入学手続に必要な書類等を送付します。

また、合格発表日の正午(予定)から約1週間、本学のホームページ(<https://www.juen.ac.jp/>)上で、合格者の受験番号を掲載します。なお、これは、情報提供の一環として行うものであり、その安全性を保障することはできませんので、必ず合格通知書で確認してください。

(注) 合否に関しての電話等による問い合わせには、一切応じません。

入 学 手 続

合格者は、次により入学手続を行ってください。

1 入学手続期間

令和7年3月13日(木)から令和7年3月15日(土)までです。【必着】

(注) ① 直接持参する場合の受付時間は、8時30分から17時15分までです。

② 郵送する場合は、書留速達とし、3月15日(土)17時15分までに本学に必ず着くよう郵送日数等を十分考慮して早めに送付してください。

なお、合格者発表日(3月7日(金))から入学手続の最終日(3月15日(土))までの期間が短いので、できるだけ入学手続書類を持参することとし、「3 納付金・提出書類等」の(1)から(3)までのものを前もって用意しておいてください。

2 入学手続場所

上越教育大学 教務課教学支援チーム 電話 025-521-3273

3 納付金・提出書類等

- (1) 入学金 282,000円
- (2) 本学の受験票及び令和7年度大学入学共通テスト受験票
- (3) 写真3枚(上半身無帽正面向 縦4cm×横3cm)

(4) その他入学手続に必要な書類等（合格通知書送付時に同封する入学手続関係書類等を参照してください。）

(注)

① 前期分の授業料については、令和7年4月以降に代行納付（口座振替）による納付となります。

なお、授業料の納付については、希望により前期分の納付の際に後期分も合わせて納付することができます。

授業料 前期分 267,900円
[年額 535,800円]

② 入学料及び授業料の金額は、令和6年度入学者用の金額であり、今後改定される場合があります。

③ 高等教育の修学支援新制度では、給付型奨学金のほか、入学料及び授業料の減免制度があります。新制度の利用を検討されている方は、支援対象者の要件等、日本学生支援機構（JASSO）のWebページにて確認してください。

④ 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

4 留意事項

- (1) 入学手続の際、「令和7年度大学入学共通テスト受験票」に大学名等を押印したものを、入学手続完了済証とします。
- (2) 令和7年3月15日(土)までに入学手続を完了しなかった者は、入学辞退者として取り扱います。
- (3) 本学へ入学手続を完了した者は、これを辞退して他の国公立大学・学部へ入学手続を行うことはできません。
- (4) 他の国公立大学・学部へ入学手続を完了した者は、これを辞退して本学へ入学手続を行うことはできません。
- (5) **入学手続後においては、既納の入学料は、原則返還しません。**

そ の 他

- 1 **試験当日は、必ず本学発行の「受験票」及び大学入試センター発行の「令和7年度大学入学共通テスト受験票」を持参してください。**
- 2 受験のための宿泊施設のあっせんは行っていません。

後 期 日 程

募 集 人 員

33人

選 抜 方 法

- 1 大学入学共通テスト（6教科8科目又は7教科8科目）の成績及び面接の評価結果を総合して入学者を選抜します。
- 2 **面接**では、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」と「人間力」を評価するため、主に教職への強い関心・意欲と人間性を高めようとする意志に関して質問する個別面接試験を行います。
【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】
生活や社会、環境の中に問題を見出し、多様な人々と関わりながら、積極的に学修を進めていくことができる。
【人間力】
教員を目指す強い意志を持ち、自分らしい生き方を教職との関係において追究し、人格及び感性を高めていこうとする態度を備えている。
- 3 **面接**は、次によるものとします。
ア 面接形式は、個別面接とします。
イ 面接は、3人の面接担当者で行います。
ウ 面接は、調査書の内容を参考資料としながら総合的に評価します。

試 験 の 日 程

実施日	時 間	試 験 科 目
令和7年3月12日（水）	9：00～17：00（予定）	面 接

試 験 場

上越教育大学

所在地：新潟県上越市山屋敷町1番地

配 点 等

1 配 点

大学入学共通テストの配点内訳と面接の評価は、次のとおりです。
なお、地理歴史、公民及び理科の配点は、合計300点とします。

大学入学共通テスト								面 接
国 語	地理歴史	公 民	理 科	数 学	外国語 (英語)	情 報	計	
200	100又は200	100 又は200	200	200	200	100	1000	段階評価とする

(注1) 外国語の英語については、リーディング（100点満点）とリスニング（100点満点）の合計点（200点満点）とします。

(注2) リスニングを免除された者については、リーディングの得点（100点満点）を200点満点に換算したものを英語の得点とします。

2 合否判定

大学入学共通テストの成績及び面接の評価結果を総合し、成績の上位から合格者を決定します。

合格者の発表

令和7年3月22日(土)

合格者には、合格通知書及び入学手続に必要な書類等を送付します。

また、合格発表日の正午(予定)から約1週間、本学のホームページ(<https://www.juen.ac.jp/>)上で、合格者の受験番号を掲載します。なお、これは、情報提供の一環として行うものであり、その安全性を保障することはできませんので、必ず合格通知書で確認してください。

(注) 合否に関しての電話等による問い合わせには、一切応じません。

入学手続

合格者は、次により入学手続を行ってください。

1 入学手続期間

令和7年3月25日(火)から令和7年3月27日(木)までです。【必着】

(注) ① 直接持参する場合の受付時間は、8時30分から17時15分までです。

② 郵送する場合は、書留速達とし、3月27日(木)17時15分までに本学に必ず着くよう郵送日数等を十分考慮して早めに送付してください。

なお、合格者発表日(3月22日(土))から入学手続の最終日(3月27日(木))までの期間が短いので、できるだけ入学手続書類を持参することとし、「3 納付金・提出書類等」の(1)から(3)までのものを前もって用意しておいてください。

2 入学手続場所

上越教育大学 教務課教学支援チーム 電話 025-521-3273

3 納付金・提出書類等

(1) 入学料 282,000円

(2) 本学の受験票及び令和7年度大学入学共通テスト受験票

(3) 写真3枚(上半身無帽正面向 縦4cm×横3cm)

(4) その他入学手続に必要な書類等(合格通知書送付時に同封する入学手続関係書類等を参照してください。)

(注)

① 前期分の授業料については、令和7年4月以降に代行納付(口座振替)による納付となります。

なお、授業料の納付については、希望により前期分の納付の際に後期分も合わせて納付することができます。

授業料 前期分 267,900円

[年額 535,800円]

② 入学料及び授業料の金額は、令和6年度入学者用の金額であり、今後改定される場合があります。

③ 高等教育の修学支援新制度では、給付型奨学金のほか、入学料及び授業料の減免制度があります。新制度の利用を検討されている方は、支援対象者の要件等、日本学生支援機構(JASSO)のWebページにて確認してください。

④ 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

4 留意事項

(1) 入学手続の際、「令和7年度大学入学共通テスト受験票」に大学名等を押印したものを、入学手続完了済証とします。

(2) 令和7年3月27日(木)までに入学手続を完了しなかった者は、入学辞退者として取り扱います。

- (3) 本学へ入学手続を完了した者は、これを辞退して他の国公立大学・学部へ入学手続を行うことはできません。
- (4) 他の国公立大学・学部へ入学手続を完了した者は、これを辞退して本学へ入学手続を行うことはできません。
- (5) **入学手続後においては、既納の入学料は、原則返還しません。**

そ の 他

- 1 **試験当日は、必ず本学発行の「受験票」及び大学入試センター発行の「令和7年度大学入学共通テスト受験票」を持参してください。**
- 2 受験のための宿泊施設のあっせんは行っていません。

追 加 合 格

令和7年3月27日(木)を過ぎて、なお**入学定員に欠員が生じた場合**には、追加合格を次により行います。

追 加 合 格 者 へ の 通 知 等

1 追加合格者への通知

追加合格者には、**令和7年3月28日(金)から令和7年3月31日(月)までの間に入学志願票の連絡先(志願者)に電話で通知します。**

上記期間中は、必ず本人と直接連絡ができるようにしておいてください。

なお、追加合格者の受験番号の発表は行いません。

2 入学の意志確認

通知を受けた者は、入学の意志確認のため、本学が指定する期日までに次の番号に電話で連絡してください。

電 話 025-521-3294 (上越教育大学入試課)

入 学 手 続

入学する意志表示をした追加合格者は、次により入学手続を行ってください。

1 入学手続期間

令和7年3月29日(土)から令和7年3月31日(月)までです。

受付時間等の詳細については、追加合格通知とともに電話で連絡します。

なお、**入学手続は本人が直接大学に来て行ってください。**

2 入学手続場所

上越教育大学 教務課教学支援チーム 電話 025-521-3273

3 納付金・提出書類等

入学手続当日は、次の(1)から(3)までのものを必ず持参してください。その他入学手続に必要な書類等は、入学手続当日に配付します。

- (1) 入学料 282,000円
- (2) 本学の受験票及び令和7年度大学入学共通テスト受験票
- (3) 写真3枚 (上半身無帽正面向 縦4cm×横3cm)

(注)

① 前期分の授業料については、令和7年4月以降に代行納付(口座振替)による納付となります。

なお、授業料の納付については、希望により前期分の納付の際に後期分も合わせて納付することができます。

授業料 前期分 267,900円

[年額 535,800円]

② 入学料及び授業料の金額は、令和6年度入学者用の金額であり、今後改定される場合があります。

- ③ 高等教育の修学支援新制度では、給付型奨学金のほか、入学料及び授業料の減免制度があります。新制度の利用を検討されている方は、支援対象者の要件等、日本学生支援機構（JASSO）のWebページにて確認してください。
- ④ 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

4 留意事項

- (1) 入学手続の際、「令和7年度大学入学共通テスト受験票」に大学名等を押印したものを、入学手続完了済証とします。
- (2) 令和7年3月31日(月)までに入学手続を完了しなかった者は、入学辞退者として取り扱います。
- (3) 本学へ入学手続を完了した者は、これを辞退して他の国公立大学・学部へ入学手続を行うことはできません。
- (4) 他の国公立大学・学部へ入学手続を完了した者は、これを辞退して本学へ入学手続を行うことはできません。
- (5) **入学手続後においては、既納の入学料は、原則返還しません。**

VII 学校推薦型選抜

募集人員

50人

推薦要件

令和5年4月から令和6年3月までに高等学校等を卒業（修了）又は令和7年3月高等学校等を卒業（修了）見込みの者（7ページの「3 出願資格(2)」参照）で、次の①から③までのすべてに該当し、かつ、合格した場合は、必ず本学に入学することを確約できる者です。

なお、各出身学校長が推薦できる人数の制限はありません。

- ① 出身学校長が、初等教育教員になるためにふさわしい意欲、資質、能力、適性等を有する者として、責任をもって推薦する者
- ② 令和7年度大学入学共通テスト（6教科8科目又は7教科8科目）を受験する者
- ③ 調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者

（注） 上記の推薦要件に該当しない者については、出願書類を受理しません。

選抜方法

- 1 出身学校長の推薦に基づき、面接及び大学入学共通テスト（6教科8科目又は7教科8科目）の成績により、入学者を選抜します。
- 2 **面接**では、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」と「人間力」を評価するため、高等学校等の段階での経験・活動実績を踏まえて総合的に質問します。
また、推薦書では「知識・技能」と「思考力、判断力、表現力」及び「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を、自己推薦書では「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」と「人間力」を評価します。
【知識・技能】
高等学校等における基礎的な知識・技能を十分に修得している。
【思考力、判断力、表現力】
物事を多面的かつ論理的に考察することができ、自分の考えを適切な方法で表現し、他者に伝えることができる。
【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】
生活や社会、環境の中に問題を見出し、多様な人々と関わりながら、積極的に学修を進めていくことができる。
【人間力】
教員を目指す強い意志を持ち、自分らしい生き方を教職との関係において追究し、人格及び感性を高めていこうとする態度を備えている。
- 3 **面接**は、次によるものとします。
ア 面接形式は、個別面接とします。
イ 面接は、3人の面接担当者で行います。
ウ 面接は、推薦書、自己推薦書の内容に加え、調査書の内容を参考資料としながら総合的に評価します。

試験の日程

実施日	時間	試験科目
令和7年1月29日(水)	9:00～17:00(予定)	面接

試験場

上越教育大学
所在地：新潟県上越市山屋敷町1番地

配点等

1 配点

大学入学共通テストと面接の配点比率は、10：3とします。
配点内訳は、次のとおりです。なお、地理歴史、公民及び理科の配点は、合計300点とします。

大学入学共通テスト								面接
国語	地理歴史	公民	理科	数学	外国語 (英語)	情報	計	
200	100又は200		100 又は200	200	200	100	1000	300

(注1) 外国語の英語については、リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)の合計点(200点満点)とします。

(注2) リスニングを免除された者については、リーディングの得点(100点満点)を200点満点に換算したものを英語の得点とします。

2 合否判定

面接及び大学入学共通テストの成績を総合し、成績の上位から合格者を決定します。
なお、面接の成績が配点の50%未満の場合には、合格者としません。

合格者の発表

令和7年2月12日(水)

受験者及び出身学校長宛に合否の通知を行い、合格者には入学手続きに必要な書類等を送付します。

また、合格発表日の正午(予定)から約1週間、本学のホームページ(<https://www.juen.ac.jp/>)上で、合格者の受験番号を掲載します。なお、これは、情報提供の一環として行うものであり、その安全性を保障することはできませんので、必ず合格通知書で確認してください。

(注) 合否に関しての電話等による問い合わせには、一切応じません。

入学手続

合格者は、次により入学手続を行ってください。

1 入学手続期間

令和7年2月17日(月)から令和7年2月19日(水)までです。【必着】

(注) ① 直接持参する場合の受付時間は、8時30分から17時15分までです。

② 郵送する場合は、書留速達とし、2月19日(水)17時15分までに本学に必ず着くよう郵送日数等を十分考慮して早めに送付してください。

なお、合格者発表日(2月12日(水))から入学手続の最終日(2月19日(水))までの期間が短いので、できるだけ入学手続書類を持参することとし、「3 納付金・提出書類等」の(1)から(3)までのものを前もって用意しておいてください。

2 入学手続場所

上越教育大学 教務課教学支援チーム 電話 025-521-3273

3 納付金・提出書類等

(1) 入学料 282,000円

(2) 本学の受験票及び令和7年度大学入学共通テスト受験票

(3) 写真3枚(上半身無帽正面向 縦4cm×横3cm)

(4) その他入学手続に必要な書類等(合格通知書送付時に同封する入学手続関係書類等を参照してください。)

- (注) ① 前期分の授業料については、令和7年4月以降に代行納付(口座振替)による納付となります。
なお、授業料の納付については、希望により前期分の納付の際に後期分も合わせて納付することができます。
- | | | |
|-----|------|-----------|
| 授業料 | 前期分 | 267,900円 |
| | [年額] | 535,800円] |
- ② 入学料及び授業料の金額は、令和6年度入学者用の金額であり、今後改定される場合があります。
- ③ 高等教育の修学支援新制度では、給付型奨学金のほか、入学料及び授業料の減免制度があります。新制度の利用を検討されている方は、支援対象者の要件等、日本学生支援機構(JASSO)のWebページにて確認してください。
- ④ 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

4 留意事項

- (1) 入学手続の際、「令和7年度大学入学共通テスト受験票」に大学名等を押印したものを、入学手続完了済証とします。
- (2) 学校推薦型選抜の合格者は、他の国公立大学・学部を受験しても入学許可は得られないので注意してください。ただし、次項の「入学辞退手続」により本学への入学辞退について学長の許可を得た者は、この限りではありません。
- (3) 令和7年2月19日(水)までに入学手続を完了しなかった者は、入学辞退者として取り扱いいます。この場合も、他の国公立大学・学部を受験しても入学許可は得られないので注意してください。
- (4) 国公立大学の一般選抜における合格決定業務を円滑に行うため、氏名、性別、生年月日、高等学校等コード及び大学入学共通テストの受験番号に限って、学校推薦型選抜の合格及び入学手続き等に関する個人情報、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。
- (5) **入学手続後においては、既納の入学料は、原則返還しません。**

入学辞退手続

学校推薦型選抜の合格者が特別の事情により本学に入学することが困難となった場合には、当該者を推薦した出身学校長が「推薦入学辞退願」(本学所定のもの)を令和7年2月19日(水)16時までに本学に提出し、本学学長の許可を得なければなりません。

提出先：上越教育大学 教務課教学支援チーム 電話 025-521-3273

そ の 他

- 1 試験当日は、必ず本学発行の「受験票」及び大学入試センター発行の「令和7年度大学入学共通テスト受験票」を持参してください。
- 2 受験のための宿泊施設のあっせんは行っていません。

VIII その他

大規模災害で被災した志願者への検定料等免除

上越教育大学では、東日本大震災、長野県北部地震、福島第一原子力発電所の事故、平成28年熊本地震、平成30年7月豪雨、平成30年北海道胆振東部地震、令和元年台風第19号等（「令和元年台風第19号等」は、令和元年8月13日から9月24日までの暴風雨及び豪雨並びに令和元年台風第19号をいう。以下同じ。）、令和2年7月豪雨又は令和6年能登半島地震で被災した方の進学機会の確保を図る観点から、令和7年度学校教育学部入学試験の実施に当たり、下記のとおり特別措置を実施します。

記

1 特別措置の内容

令和7年度上越教育大学学校教育学部入学試験（一般選抜（前期・後期）及び学校推薦型選抜）に係る検定料（17,000円）の全額免除、入学料及び授業料の全額又は半額の免除

2 免除の対象者

- (1) 東日本大震災、長野県北部地震、平成28年熊本地震、平成30年7月豪雨、平成30年北海道胆振東部地震、令和元年台風第19号等、令和2年7月豪雨又は令和6年能登半島地震における災害救助法が適用されている地域で被災した志願者で、以下のいずれかに該当する者
 - ① 主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流失した場合
 - ② 主たる家計支持者が死亡又は行方不明の場合
- (2) 居住地が福島第一原子力発電所事故により、帰還困難区域、居住制限区域及び避難指示解除準備区域に指定された者

3 免除方法

検定料の免除については、出願後の申請により還付します。
したがって、出願時には、必ず検定料の払込が必要となります。
入学料及び授業料の免除については、入学手続き時にお知らせします。

4 申請方法

「検定料免除許可申請書 兼 還付請求書」（本学のホームページ（<https://www.juen.ac.jp/>）からダウンロードしてください。）に証明書類を添付の上、申請してください。
（必要な証明書類）

免除対象	必要書類
主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流失した場合	り災証明書（写し可）
主たる家計支持者が死亡又は行方不明の場合	死亡又は行方不明を証明する書類
居住地が福島第一原子力発電所事故により、帰還困難区域、居住制限区域及び避難指示解除準備区域に指定された者	被災証明書（写し可）

5 検定料免除の申請期間

出願後 ～ 令和7年2月28日（金）（消印有効）

6 検定料免除申請書の提出先

上越教育大学入試課
〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地
※ 封筒の表に「検定料免除申請書在中」と朱書してください。

7 問い合わせ先

- ① 検定料免除に関すること
上越教育大学入試課（電話025-521-3294）
- ② 入学料及び授業料の免除に関すること
上越教育大学学生支援課（電話025-521-3286）

入試の個人成績等の開示

本学では、令和7年度における一般選抜（前期日程、後期日程）及び学校推薦型選抜の個人成績及び調査書を**本人に限り**次のとおり開示します。

1 申請受付期間

令和7年5月7日(水)～令和7年5月16日(金)

- ・ 窓口での申請受付は、土曜日、日曜日及び祝日を除く日の9時から17時までです。
- ・ 郵送による申請は、5月16日(金)本学到着分まで受け付けます。

2 申請方法

(1) 入試成績等開示申請書（本学所定の用紙）の請求
用紙は、本学ホームページ（<https://www.juen.ac.jp/>）からダウンロードしてください。

(2) 開示の申請

<窓口への持参による申請>

次のものを持参してください。

- ① 入試成績等開示申請書
- ② 本学受験票及び大学入学共通テスト受験票（コピー不可）
※ 受験票を紛失した場合は、本人を確認できる身分証明書等を持参してください。
- ③ 返信用封筒（長形3号封筒に、本人の住所・氏名を記入し、460円分の郵便切手を貼り付けたもの）

<郵送による申請>

次のものを必ず「簡易書留」で郵送してください。

- ① 入試成績等開示申請書
- ② 本学受験票及び大学入学共通テスト受験票（コピー不可）
※ 各受験票は返却します。
- ③ 返信用封筒（長形3号封筒に、本人の住所・氏名を記入し、460円分の郵便切手を貼り付けたもの）

(注) 申請は本人に限ります。代理人又は電話での申込みには応じません。

3 開示内容

令和7年度入試に係る次の内容を開示します。

(1) 得点等

① 一般選抜

本学が判定に利用した大学入学共通テストの教科・科目ごとの得点及び合計点並びに一般選抜の試験区分ごとの得点及び面接の評価結果を開示します。

② 学校推薦型選抜

本学が判定に利用した大学入学共通テストの教科・科目ごとの得点及び合計点並びに面接の得点を開示します。

(2) 順位

各入試の順位を開示します。

(3) 調査書

「指導上参考となる諸事項」、「総合的な学習の時間の内容・評価」及び「備考」欄を除き開示します。

4 開示方法

申請時に提出された返信用封筒により、後日「簡易書留」により開示内容を郵送します。

※ 詳しくは、本学ホームページ（<https://www.juen.ac.jp/>）の「入試情報／学校教育学部／試験情報」→「個人成績等の開示」をご覧ください。

出願状況等の提供

本学では、令和7年度入試の出願状況等について、次のとおり本学ホームページ (<https://www.juen.ac.jp/>) に掲載します。

- ・ 学校推薦型選抜の出願状況（出願者数及び倍率）
掲載期間：令和6年12月9日(月)午前9時～令和7年1月6日(月)
- ・ 一般選抜（前期日程、後期日程）の出願状況（出願者数及び倍率）
掲載期間：令和7年1月28日(火)午前9時～令和7年2月7日(金)

教育実習等に係る費用負担

本学の教育実習は附属学校園（上越市）のほか、上越市、妙高市、糸魚川市及び柏崎市の幼稚園・保育園・こども園、小学校、中学校、特別支援学校から連携協力を受けており、学生は本学の指定する学校園で教育実習を行うこととなります。

大学所在地から実習校園までの距離は、指定された学校園ごとに様々です。遠方の学校では、おおよそ上越市内で30km、妙高市内で35km、糸魚川市内及び柏崎市内で45kmの距離があり、公共交通機関又は自家用自動車を利用させていただくこととなります。

なお、教育実習に係る交通費、教育実習のための教科書（教育実習ハンドブックを含む。）及びその他教育実習に必要なものの購入は自己負担となります。

また、本学は養成定員20人の指定保育士養成施設として認可されており、保育実習を含む定められた科目を修得することで、保育士となる資格が得られます。教育実習と同様に保育実習に係る交通費等は自己負担となります。

ノート型パーソナルコンピュータの所持

本学では、教育・研究におけるICT（情報通信技術）活用を積極的に推進するとともに、学校における教育活動においてICTを一つの手段として活用し、効果的で魅力的な授業実践を通して児童・生徒の確かな学力の習得を図ること、及び、ICTを校務処理に活用し、効率的な学校運営を行うことなど、ICT活用指導力を身に付けた教師の育成を図っていききたいと考えています。

このため平成17年度入学生からノート型パーソナルコンピュータを所持いただいております。このコンピュータを活用できるよう、図書館や食堂を含む学内の教育空間のほぼ全域に無線LAN環境を整備し、学生はどこでも自由にインターネットに接続し、学習できるようになっています。

なお、入学に際して、ご用意いただくノート型パーソナルコンピュータの仕様や入学後の支援、その他必要な事項については、入学手続の際に改めてご案内します。

体温計とマスクの所持

本学では、学生自身の体調管理、疾病等の早期発見・早期治療のため、体温計の所持と、感染症拡大防止のため、マスクの所持を勧めています。

キャンパス敷地内全面禁煙

本学では、受動喫煙を防止し、学生及び教職員等の健康を守るため、また、公立学校等における敷地内全面禁煙の実施状況を踏まえ、将来教育現場に就職することとなる学生に対し、在学中に喫煙習慣を持たせないための環境を整備するため、キャンパス敷地内全面禁煙（新型タバコを含む。）としています。

All Gender WC の設置

本学では、種々の障がい及び性の多様性（SOGIE）に配慮してAll gender WCを設置しています。なお、本学におけるSOGIEに関する対応ガイドラインは、本学のホームページで公開しています。
(<https://www.juen.ac.jp/090campus/010life/080sogie/>)

設置場所は、次のとおりです。

- ・人文棟 1 階、2 階、8 階
 - ・附属図書館 2 階（入館ゲート外）
 - ・自然棟 1 階
 - ・音楽棟 2 階
 - ・美術棟 1 階
 - ・体育棟 1 階、2 階
 - ・講堂
 - ・特別支援教育実践研究センター 1 階
 - ・大学会館 1 階
 - ・学校教員養成・研修高度化センター 1 階（西城地区）
- ※上記のうち、人文棟 1 階、2 階、附属図書館 2 階、体育棟 1 階のトイレには、オストメイト対応設備があります。

本学に関する問い合わせ

学生募集要項の請求、出願方法及び入学手続等についての照会は、下記のそれぞれの担当に連絡してください。

学生募集要項（PDF版）は、本学ホームページから閲覧・ダウンロードできます。（PDF版も冊子体も同じ内容です。）また、大学案内は本学ホームページでご覧いただけます。

なお、学生募集要項又は大学案内の冊子体を希望する場合は、テレメール、モバっちょ及び電話等で請求できます。請求方法は、本学のホームページを参照するか、下記の担当に問い合わせてください。

- (1) 学生募集要項又は大学案内の請求及び出願方法等に関すること

上越教育大学 入試課

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町 1 番地

電話 025-521-3294 メール nyushi@juen.ac.jp

<https://www.juen.ac.jp/>

- (2) 入学手続に関すること

上越教育大学 教務課教学支援チーム

電話 025-521-3273

コース・領域(分野)の紹介

上越教育大学は、学生が、初等教育全般にわたる総合的な理解を深め、初等教育教員として必要な資質能力を培うとともに、さらに特定の分野の専門性を深め、中等教育をも見据えて力量を高めることができるよう、次の各コース・領域(分野)を設けています。

学生は、2年次以降、本人の希望と1年次の成績に基づいて決定されたコース・領域(分野)に所属し、そのコース・領域(分野)に応じて、それぞれ所定の授業科目を履修することになります。

コース・領域(分野)名及び標準学生数は次のとおりです。

なお、教科教育・教科複合コース生活・健康領域保健体育分野については、保健分野も含んだ領域となっています。

専 修	コ ー ス	領 域 (分 野)	標 準 学 生 数
学 校 教 育	学 校 教 育	発 達 と 教 育 連 携 学 級 経 営 ・ 授 業 経 営 道 徳 ・ 進 路 ・ 生 徒 指 導	約 4 0 人
	教 科 教 育 ・ 教 科 複 合	人 文 ・ 社 会 (国 語、英 語、社 会) 自 然 科 学 (数 学、理 科、情 報) 芸 術 創 造 (音 楽、美 術) 生 活 ・ 健 康 (保 健 体 育、技 術、家 庭) 教 科 横 断 ・ 総 合 学 習 (教 科 横 断 ・ 探 究 的 学 習、 グ ロー バ ル ・ 総 合)	約 1 0 5 人
	幼 年 教 育	幼 年 教 育	約 9 人
	心 理 臨 床	心 理 臨 床	約 6 人

学生は、所定の卒業要件単位を修得することによって、全学生が学士(教育学)の学位を受けるほか、小学校教諭一種免許状を取得できます(幼年教育コースに所属する学生の場合には、幼稚園教諭一種免許状も併せて取得できます)。その上に所要の単位を修得することによって、幼稚園教諭の一種か二種の免許状、特定教科の中学校教諭の一種か二種の免許状、特定教科の高等学校教諭の一種免許状を選択して取得することができます(ただし、授業時間割の制約上、希望する免許状が取得できないこともあります)。

○卒業要件に含まれる免許状

小学校教諭一種免許状

幼稚園教諭一種免許状(幼年教育コース)

○履修の仕方によって取得可能な免許状

幼稚園教諭一種免許状

中学校教諭一種免許状(国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、保健、技術、家庭、英語)

高等学校教諭一種免許状(国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、工芸、保健体育、保健、家庭、情報、英語)

令和 6 年度入試合格者成績情報

日 程 ・ 試 験 の 区 分		配点	令和 6 年度合格者			
			最高点	最低点	平均点	
前期日程	大学入学共通テスト	900	573点	442点	518.5点	
	個別学力検査等	小論文	90	67点	39点	54.4点
		実技検査	90	88点	20点	57.3点
後期日程	大学入学共通テスト	900	635点	441点	543.6点	
学校推薦 型選抜	大学入学共通テスト	900	621点	435点	520.3点	
	面接	270	259点	167.4点	222.4点	

令和 6 年度入学試験状況

区分	難 員	応 募 者	受 験 者	当初合格者	当初手続者	追加合格	追合手続	合格者総数	入学者数
推薦	50	97 (58)	97 (58)	50 (34)	50 (34)			50 (34)	50 (34)
前期	77	158 (85)	101 (47)	85 (39)	77 (36)			85 (39)	77 (36)
後期	33	380(193)	56 (20)	50 (18)	42 (16)			50 (18)	42 (16)
計	160	635(336)	254(125)	185 (91)	169 (86)			185 (91)	169 (86)

() 内は女子で内数

令和6年度 上越教育大学入学者選抜試験

試 験 問 題

一般選抜（前期日程）	一般選抜（後期日程）	学校推薦型選抜
小論文 小論文出題の意図 小論文採点基準 実技検査（音楽） 実技検査（美術） 実技検査（体育） 面接における質問事項等	面接における主な質問事項	面接における主な質問事項

※ 上越教育大学では、過去3年分の問題をホームページに公表しています。

本学ホームページ「入試情報／学校教育学部」→「過去の試験情報／過去の試験問題」をご覧ください。

(<https://www.juen.ac.jp/060admissions/020faculty/080examold/exam/index.html>)

令和六年度 上越教育大学

一般選抜（前期日程）

小論文試験問題

注意事項

- 一 解答を始める前に、解答用紙に受験番号と氏名を正確に記入すること。
- 二 解答は、黒鉛筆又はシャープペンシルで記入すること。
- 三 印刷が不鮮明な場合を除いて、質問には一切応じない。
- 四 解答は、解答用紙の所定の欄に縦書きで記入すること。下書き用紙での解答は無効である。
- 五 試験終了までに、下書き用紙から解答用紙に転記できないことのないよう、下書きと解答の時間配分を十分考えて解答すること。
- 六 試験終了後は、解答用紙だけを提出すること。
- 七 問題用紙と下書き用紙は、各自持ち帰ること。

次の文章を読んで、後の設問に答えなさい。

この何十年か、「個性」や「オリジナリティ」の重要性がずいぶん強調されてきました。個性重視というのは、「今・ここにいる・私」を絶対化することです。でも、個性というようなことばをあまり軽々に使うのはどうかと思います。これはけっこう危険なことばだからです。

ぼくたちがあることを考えたり、感じたりするしかたというのは、実はかなり共同的に規制されている。ぼくたちが共有している「文化の地平」に収まらない異物は、そもそも知覚も思考もされない。自分では「個性的なものの見方」と思っていることが、ある世代まるごと共有されている、「縛り」であるということは、同世代や同類たちとつるんでいるだけでは絶対に分からないのです。

ぼくは一年近く、鈴木晶さんとメールで往復書簡をしました。

鈴木さんはぼくと一つ違いで、同じような東京の進学校を出て、大学も一緒、その後大学院に行つて、やつてた仕事にもずいぶん共通点があります。

そういう人と意見交換してみたら、それまで自分の個性だと思っていたもののうちのかなりの部分が、一九五〇年東京生まれの同時代人に共通のものだ、ということに気づかされました。

そういう同世代の共通項を控除して、その後に残るもの、それがとりあえず「私の個性」と呼べるものなわけです。そういう「すり合わせ」をしていかないと、自分が「個性」だと思ひ込んでいたものが、実はある時代や、ある地域の文化が作り上げてきた「民族的偏見」にすぎなかつたということにはなかなか気づきませぬ。

自分と自分の同類たちを共同的に制約している「縛り」に気づくのに一番効果的なアプローチは異文化との接触です。

たとえば、英語の人としゃべつてると、英語では言えないことが自分の中にある、ということに気づきます。英語で「それじゃ、日本の文化について語ろう」ということになつたとき、こちらの口から出るのは、結局ストックフレイズなわけです。英語の本でこれまで読んできて、まるごと覚えたストックフレイズばかりがつい口をついて出てきてしまう。

そういう局面で、ぼくの口から出てくることばは、たいてい欧米の人たちが日本を批判するときの決まり文句です。

しかたがないですね。

英語でうまくしゃべるといふことは、英語的なワーディングで、英語的なアクセントで、「いかにも英語圏の人間が言いそうなこと」を再現してみせるということなんですから。

英語話者には思いもつかないようなアイデアは、伝えようとしても伝えられない。だって、それを語る単語や表現を、これまで英語の本で読んだこともないし、英語で話しているのを聞いたこともないんですから。

英語に堪能になるといふのは、要するに、英語のストックフレイズをたくさん覚え込んで、英語圏の人たちが「言いそうなこと」を同じような口調で復唱することになってしまうのです。

以前サンフランシスコに行つたときに、帰りの空港のカウンターで、空港職員の態度が非常に悪かつたことがあります。長い間人を待たせておいて、だらだら仕事をしているし、割り込む人がいても、それを咎めもしない。ぼくは二〇分くらい待たされた果てに、腹が立つてきて、ついカウンターのばんと叩いて、「ぼくは二〇分ここで待っているが、君はさらに何分ぼくを待たせるのか」と怒鳴つたのです。

この瞬間、ぼくは自分の英語があまりに滑らかだつたのでびつくりしました。

あ、そうか、英語というものは「私が正しい、君は間違つている、私には権利がある、君には義務がある」といふようなことを言おうとすると、すぐくすみズに出ることばなんだ、ということが腑に落ちました。

「まず怒鳴る」と実にアメリカ的な語り口になるんです。「あ、すみません。勝手なお願いですけど、聞いていただけますか?」とか、「おつしやることは確かによく分かるんですけども、ちよつと微妙に違うんですよね……」みたいなことを言おうとすると、まるで英語にならない。

英語で語るということは、英語話者たちの思考のマナーや生き方を承認し、それを受け容れるということなのです。

逆から言うと、日本語で思考したり表現したりするということは、日本語話者に固有の思考のパターン、日本人の「種族的思想」を受け容れるということなのです。

そういうふうにして、自分が「個性」だと思つていたものの多くが、ある共同体の中で体質的に形成されてしまつた一つの「フレームワーク」にすぎない、と気がつくわけです。

じゃあ、自分はいつたいどんなフレームワークの中に閉じ込められているのか、そこからどうやって脱出できるのか、というふうに問いを立てるところから、はじめて反省的な思考の運動は始まります。

「私はどんなふうにして感じ、判断することを制度的に強いられているのか」、これを問うのが要するに「思考する」ということです。

若者たちはオリジナルであることが大好きです。でも、彼らが自分のかけがえのない個性だと思つてものの九五パーセントくらいは、実は「既製品」なのです。

(内田樹 『疲れすぎて眠れぬ夜のために』 角川書店 二〇〇三年より
なお、出題にあたり一部文字の表記を変更した箇所がある。)

設問 この文章を読み、二〇〇字程度で要約しなさい。さらに著者の意図することを踏まえて、自分の「個性」とどのように向き合い、大学生生活を過ごすふうにするのか、あなたの考えを述べなさい。全体で八〇〇字以内(厳守)とします。

小論文試験問題出題の意図

「個性」や「自分らしさ」といったものに価値が置かれるようになって久しい。他者とは異なる、自分を表現する方法として、音楽やファッション、言葉等が取り上げられる一方で、それらが流行という没個性を生み出すこともしばしばある。

本問題文は、「個性ということ」について論じたものである。自分自身が個性だと思っていることは実は地域や年代といった自らの所属する共同体に共通するものであり、そのフレームワークの中に閉じ込められているに過ぎないとしている。そしてそのフレームワークに気づく手立てとして異文化との接触が有効であり、フレームワークからいかに脱却するかを問うことが反省的に思考することだと述べている。

そこで本問題では、まず著者の意図を理解して問題文を要約する。さらに著者の意図することを踏まえて、自分の「個性」とどのように向き合い、大学生活を過ごそうとするのか、これからの4年間を見据えて思考・判断し、表現できるかを問う。

小論文試験問題採点基準

採点方法

複数の採点者が以下の採点基準に従い、各自90点満点で採点し、その平均点を受験者の得点とする。

採点基準

1 思考力

問題文を著者の意図を理解しながら読み解き、それを適切に要約できているか。

2 判断力

著者の「個性」に関する論を踏まえながら、自らの「個性」とどう向き合い、その向き合い方を以て、どのようにこれからの大学生活を過ごそうとするのか、その考えを明らかに出来ているか。

3 表現力

自らの「個性」との対峙、それによる大学生活の方略について、明瞭かつ論理的に記述できているか。

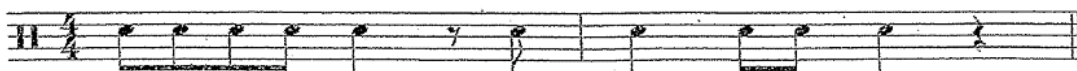
実技検査（音楽）試験内容及び採点の観点

○基礎音楽能力テスト

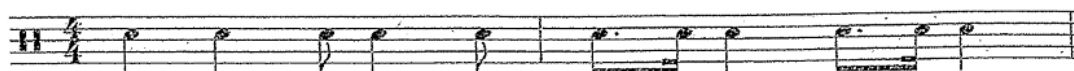
1. リズム感覚検査（聴取、記憶、再現）

検査担当者が打つ次のリズムを聴き、同じリズムを受験者がマレットで打つ。（A、Bとも）

A. $\text{♩} = 96$



B $\text{♩} = 80$



2. 音感検査（聴取、音程感、発声など）

検査担当者が弾く次のピアノの音を聴き、同じ高さの音を「ア」で歌う。（A、B、Cとも）



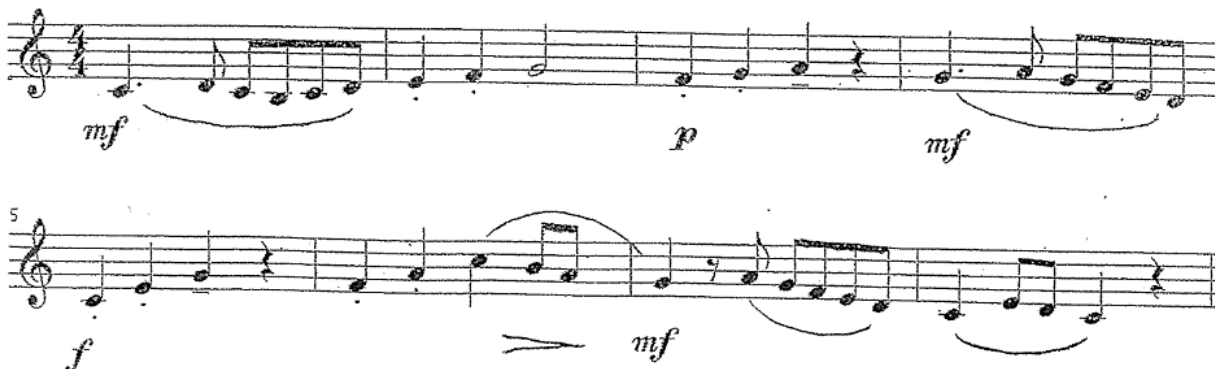
3. 視唱能力検査（読譜力、発声、表現力など）

次の楽譜を見ながら「ドレミ」または母音で歌う。受験者は検査直前に1分間楽譜を見ることが出来る。最初にピアノで主和音と開始音を与える。申し出により移調も可とする。

開始前にピアノで



Moderato



採点の観点

- 問題1 聞いたリズムを正確に打てるかどうか。
 - 問題2 提示された音を再現できるかどうか。
 - 問題3 与えられた楽譜を読み取って歌えるかどうか。
- 以上の結果をもとに適性を総合的に判断する。

実技検査（美術）試験内容及び採点の観点

○ 造形表現テスト

問題

配付されている描画対象物（メスティン、オガライト、軍手、トマト）を下敷き用紙上に自由に配置し、解答用紙に鉛筆で描画しなさい。

- ① 解答用紙は、縦に使っても横に使ってもよい。
- ② 対象物は、すべてが少しでも見えるように、下敷き用紙上に配置すること。
- ③ 下敷き用紙は、折り曲げたり、切ったりしてはいけません。
- ④ 画鋸は、解答用紙を固定するのに用いること。
- ⑤ 配置した対象物は、試験終了後もそのままにしておくこと。

注意事項

1. 机の上には次のものが置いてあります。監督者の指示に従って確認し、不足のものや破損したものがあれば、手を高く挙げなさい。

[用紙]	解答用紙 1枚、下敷き用紙 1枚
[描画対象物]	メスティン 1個、オガライト 1本、 軍手 1枚、トマト 1個
[用具]	2H、HB、2B、4B、6Bの黒鉛筆 各1本、 消しゴム、鉛筆削り 各1個、 画板 1枚、 画鋸 4個

2. 指示に従って、受験番号・氏名を解答用紙に記入しなさい。

3. 試験終了後、問題用紙は持ち帰りなさい。

採点の観点

以下の4項目の観点を中心に総合的に評価する。

- (1) 構成の工夫や広がりが見られるか。
- (2) 素材を生かした表現を行っているか。
- (3) 描画材である鉛筆による表現の幅が見られるか。
- (4) 表現しようとする思いや考えを伝えようと努力しているか。

実技検査（体育）試験内容及び採点の観点

○ 運動能力テスト

脚筋力、調整力及び柔軟性を含む総合的な運動の基礎的能力を次の2種目でみる。

- ①立ち三段跳び※ ②長座体前屈

※ 両足を揃えた立位姿勢から、右足、左足（または左足、右足）と接地し、3歩目に両足で着地する跳躍運動。

採点の観点

運動の基礎的能力の観点から評価し、入学後の学習に必要な適性をみる。

令和6年度 上越教育大学 一般選抜（前期日程）

面接における質問事項等

個別質問

あなたが教員になりたいと思った理由は何ですか。また、なぜ本学を選んだのですか。具体的にお話してください。

発表のテーマ

中学校及び高等学校では、ひとりの教員が複数のクラスに対して特定の教科を指導する、いわゆる教科担任制を実施しています。小学校高学年のすべての教科に、このような指導体制を実施した場合の長所と短所を踏まえ、あなたの考えを発表してください。

集団討論の目標

現在の小学校では、主として、ひとりの教員が担当クラスの全教科を教える学級担任制を採用しています。教科担任制と学級担任制、双方の長所を上手く取り入れたより良い指導体制について討論してください。

面接における主な質問事項

- ・ 教師を志すようになったきっかけについてお話してください。
- ・ 教員になるため、本学に入学後の大学生活では、どのようなことに取り組みたいと考えているかお話してください。
- ・ あなたがこれまでに経験した集団活動のうち、最も有意義であったと思えるものを一つ挙げてください。また、その理由をお話してください。
- ・ 誰でも、人に対して「羨ましい」という気持ちを持つことがあると思います。あなたはどんな時に「羨ましい」と思いますか。また、なぜそのように思うのでしょうか。差し支えない範囲で具体例を挙げつつ、思うところをお話してください。

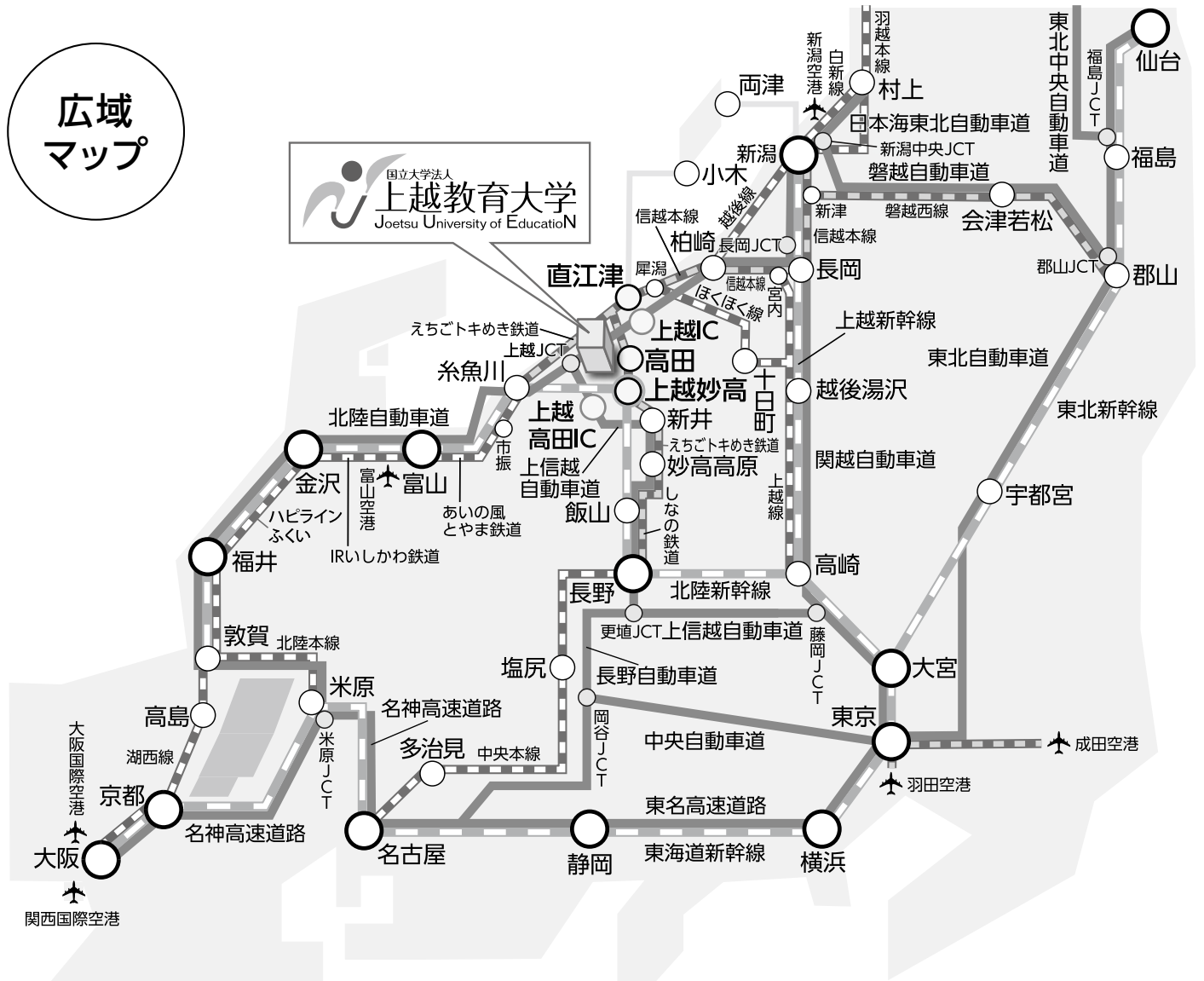
令和6年度 上越教育大学 学校推薦型選抜

面接における主な質問事項

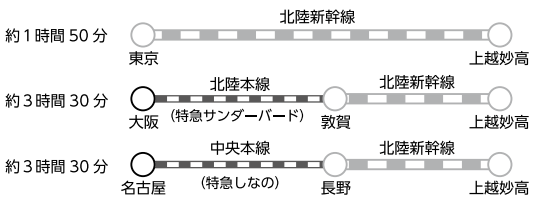
- あなたの性格や長所をふまえて、本学でどのような点を成長させて、教員になりたいと考えているかお話しください。
- 近年、日本では教員のなり手が不足しているとされています。この問題が学校や社会などにもたらす、もっとも重要な影響は何だと考えますか。また、そう考える理由は何ですか。お話しください。
- どのような教師が、子どもたちの可能性を広げられると思いますか。また、そのような教師になるために、あなたはどのような力を身に付ける必要があると思いますか。お話しください。

本学へのアクセス

広域マップ



電車でのアクセス



車でのアクセス



キャンパス周辺マップ



- 上越妙高駅から
 - [タクシー] 上越妙高駅前から乗車 (約20分)
 - [バス] 上越妙高駅から
 - [36] 山麓線乗車, 「教育大学東」下車 (約20分, 平日のみ運行, 1日3便)
 - [鉄道] えちごトキめき鉄道(妙高はねうまライン)の降り線に乗車(約10分), 「春日山駅」下車, 徒歩で約25分(2.2km)
- 高田駅から
 - [タクシー] 高田駅前から乗車(約10分)
 - [バス] 高田駅近くの「本町六丁目」から
 - [5] 教育大学線乗車, 「教育大学」下車(約15分)
- 直江津駅から
 - [タクシー] 直江津駅前から乗車(約10分)
 - [バス] 直江津駅前から
 - [5] 教育大学線乗車, 「教育大学」下車(約20分)
 - [バス] 直江津駅前から
 - [36] 山麓線乗車, 「教育大学東」下車 (約15分, 平日のみ運行, 1日3便)



2025 学生募集要項

令和6年11月発行

編集発行 ■ 上越教育大学入試課

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地

tel.025-521-3294

<https://www.juen.ac.jp/>

リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。